

エコな休日を楽しもう



春には、セリ、ナズナ、ワラビ。昔から人々は、野山に食べられる草をつみに行きました。平安時代には、川で水のかけあいをしたり、べん当を食べたり、笑ったりする絵がかかれています。もちろん江戸にも、この野遊びは受けつがれました。

しおひがりとは、昔の1年の3月3日（今の4月ごろ）がよいとされ、たくさんの貝を子どもおとなもほり起こしている絵があります。

また、夏の夜はホタルがりで楽しみました。江戸の人々は、四季のうつりかわりを身近に感じていました。たいてい歩いてでかけたので、今より、ずっと少ないエネルギーでおとなも子どもも遊びました。



「江戸砂子子供遊 早稲田 螢がり」

子どもたちが、竹やうちわで、ホタルを追いかけます。つかまえて、かごの中のホタルの光を楽しみました。 公文教育研究会蔵

江戸の子どもたちの放課後は？

寺子屋での習字のけいこがおわる午後2時ごろ。顔も手足もすみだらけの子どもたち数人が、ふろ屋にやってきます。この後、しばいのまねをして遊ぶことに。

「絵本をあげるから、いれて」「ねずみ役をしろ」「いや」。言い合いをした子どもたちが、なかなかおりるかと思うと、「そっちからあやまれ」。

けんかをする時もあれば、なか良くする時もあり。そんな子どものすがたは、今も昔も変わらないかも。(式亭三馬 浮世風呂より)



「うたひ八番ノ内 紅葉狩り」 公文教育研究会蔵
こんなふうにも、ごっこ遊び。

江戸 エコチェック



きみは江戸のちえが使いこなせているかな？

- い 竹とんぼや竹馬など自然の材料を使った遊びをしたことがある はい いいえ
- ろ おやつで食べているお菓子の包みは、多いと思う はい いいえ
- は 休日はテレビゲームをするより、外で遊んでいる はい いいえ

はんてい

- はい3こ 江戸のちえをよく活用していますね。よくできました。
- はい2こ あともう少しです。今後がんばりましょうね。
- はい1~0こ 江戸のちえはきっと役に立ちますよ。エコな取組をしましょう。